

6616

TOIREX
Torex...Powerfully Small!

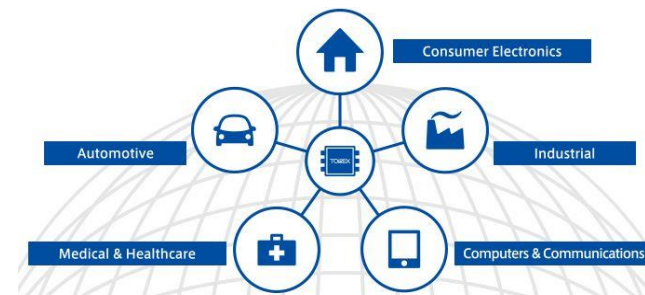
2019年3月期 第2四半期 決算説明資料

2018年11月20日

トレックス・セミコンダクター株式会社

世界は「アナログ」でできている

あらゆるフィールドで活躍するトレックスの電源IC



1

2019年3月期 第2四半期業績

2

2019年3月期 業績予想

3

株主還元

Appendix

2019年3月期 第2四半期業績

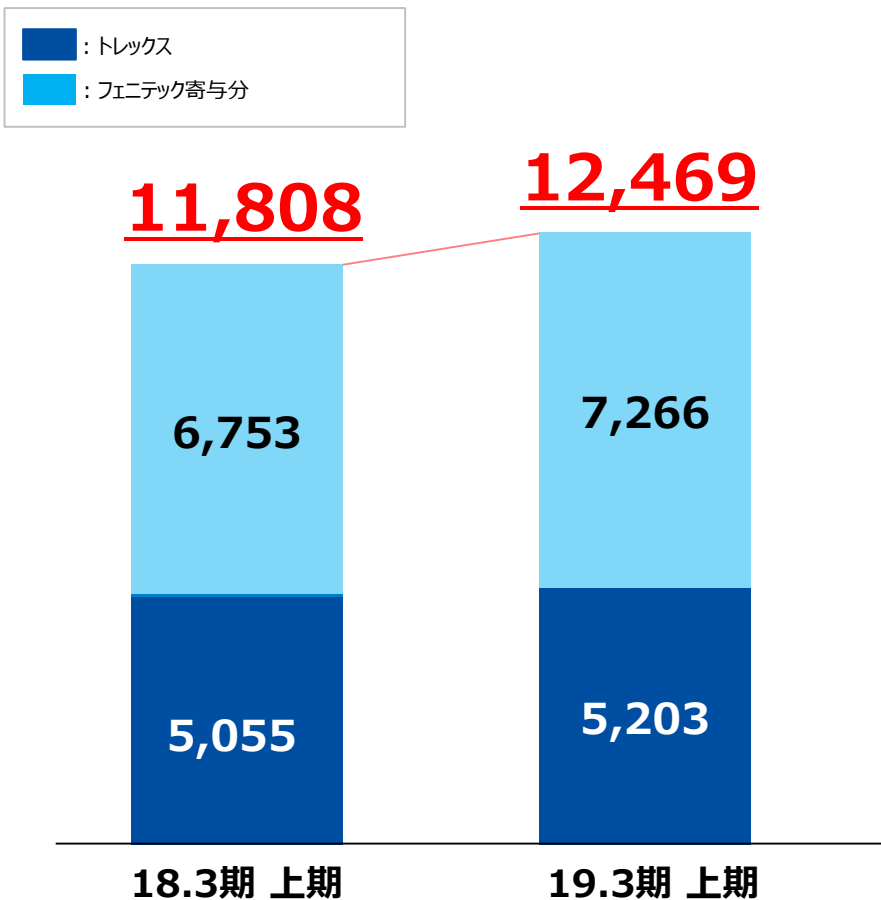
- ▶ **トレックス、フェニテックともに前期比増収増益**
- ▶ **各段階利益で8/10発表の修正予想を大幅超過**
- ▶ **トレックスは産業分野、フェニテックは車載分野が好調**

(単位：百万円)

科目	18.3期 上期実績	19.3期 上期実績	対前年 同期比 増減率	19.3期 上期 当初予想	19.3期 上期 修正予想	対修正 予想比 増減率
売上高	11,808	12,469	5.6%	12,300	12,900	▲3.3%
営業利益	1,090	1,351	23.9%	450	1,050	28.7%
営業利益率	9.2%	10.8%	1.6Pt	3.7%	8.1%	2.7Pt
経常利益	1,107	1,742	57.4%	450	1,280	36.1%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	501	965	92.5%	244	700	37.9%
EPS (円)	55.41	88.89	60.4%	22.52	64.60	37.6%
海外売上高比率 (*1)	71.6%	70.8%	▲0.8Pt	-	-	-
平均為替レート (1\$=)	¥111.4	¥110.0	-	-	-	-
減価償却費	449	434	▲3.3%	-	-	-
設備投資	354	2,193	519.5%	-	-	-

(*1) 海外売上高比率：外貨建て売上比率

(単位：百万円)



トレックス

- 産機分野が好調に推移
- 医療やウェアラブルも好調

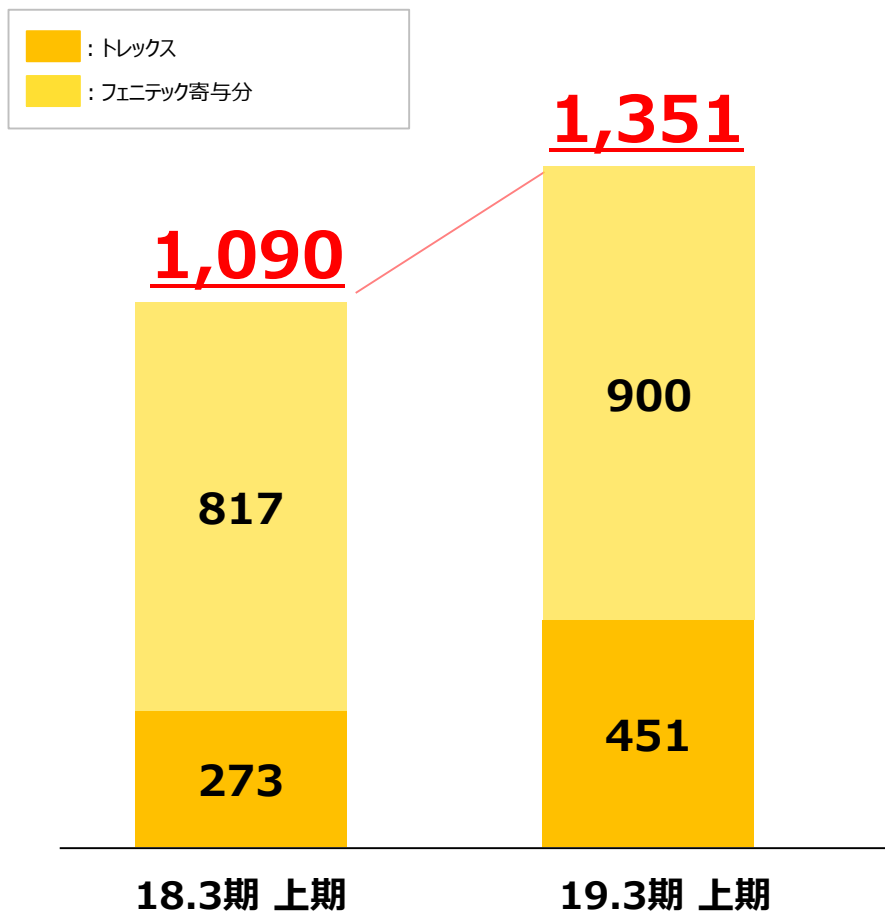
フェニテック

- ディスクリートの好調継続
- 車載分野が好調に推移

(単位：百万円)

	18.3期 上期実績	19.3期 上期実績	対前年同期比増減率
売上高	11,808	12,469	5.6%

(単位：百万円)



➤ トレックス

- 高単価製品の販売好調による増益

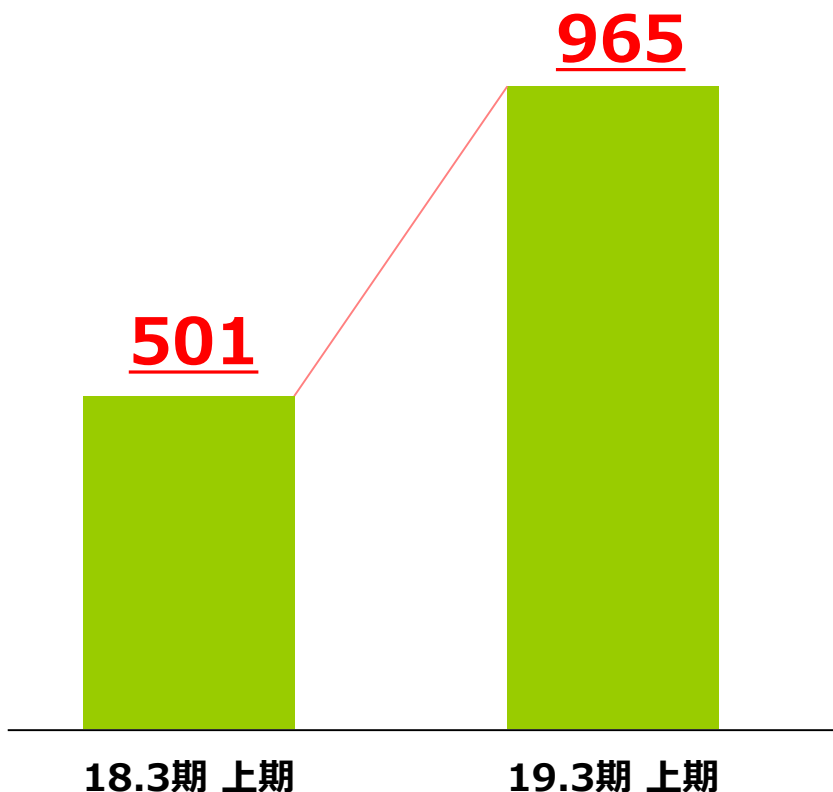
➤ フェニテック

- 販売好調による増収増益
- 稼働率上昇、生産性向上による収益性向上

(単位：百万円)

	18.3期 上期実績	19.3期 上期実績	対前年同期比増減率
営業利益	1,090	1,351	23.9%

(単位：百万円)



営業利益の増加に加え、営業外収益として為替差益366百万円が発生したこと等により、大幅な増益

(単位：百万円)

	18.3期 上期実績	19.3期 上期実績	対前年同期比増減率
四半期純利益	501	965	92.5%

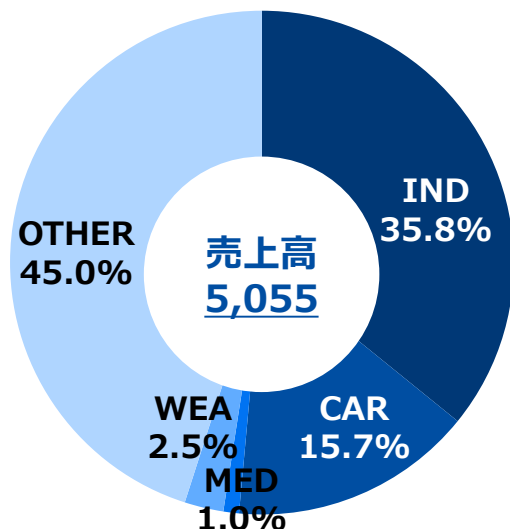
(単位：百万円)

科目	18年3月期末	19.3期 上期末	対前期末増減
資産	27,995	30,577	2,582
負債	8,909	10,463	1,554
純資産	19,085	20,113	1,028

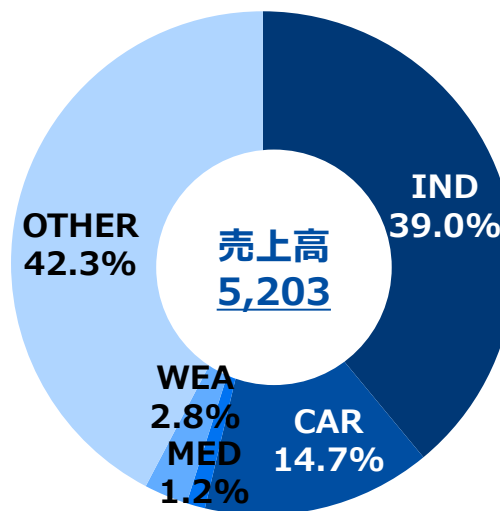
<参考> キャッシュ・フロー関連指標の推移

科目	18年3月期末	19.3期 上期末	対前期末増減
有利子負債	5,059	5,531	472
自己資本比率	51.8%	53.4%	1.6pt
D/Eレシオ	0.35	0.34	▲0.01

トレックス／フェニテック 各単体



18.3期上期実績



19.3期上期実績

車載・産機シェア

51.5%

(18.3期上期)



53.7%

(19.3期上期)

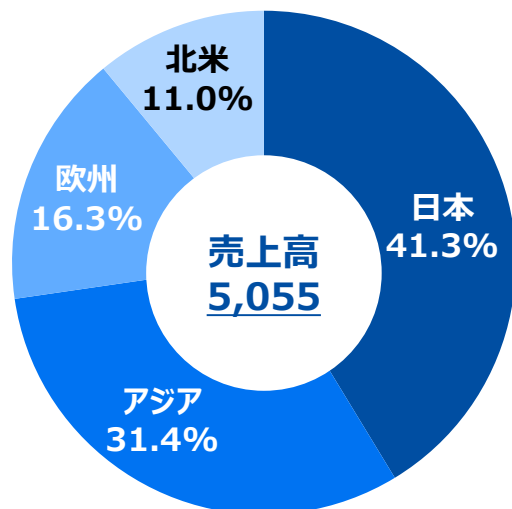
(単位：百万円)

アプリケーション		18.3期 上期		19.3期 上期		対前年同期比 増減率
		売上高	構成比	売上高	構成比	
IND	産業機器	1,810	35.8%	2,029	39.0%	12.1%
CAR	車載機器	792	15.7%	765	14.7%	▲3.4%
MED	医療機器	50	1.0%	62	1.2%	24.0%
WEA	ウェアラブル機器	126	2.5%	145	2.8%	15.1%
OTHER	その他機器	2,277	45.0%	2,202	42.3%	▲3.3%

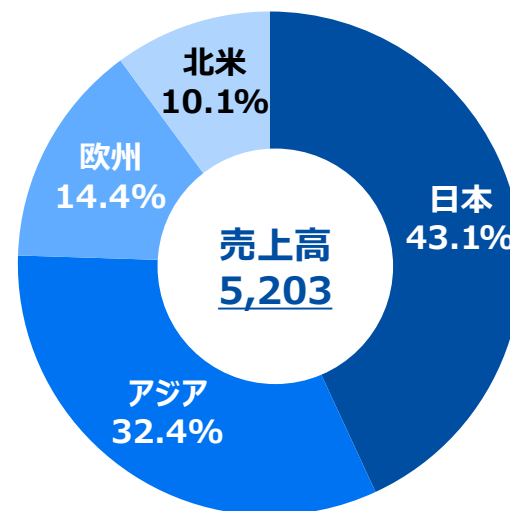
※注：アプリケーションの分類は変更することがあります。

2019年3月期 第2四半期業績 ～地域別売上高（トレックス）

TOIREX



18.3期上期実績

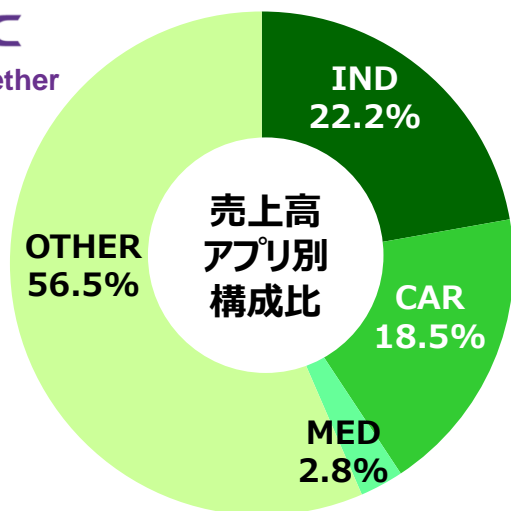


19.3期上期実績

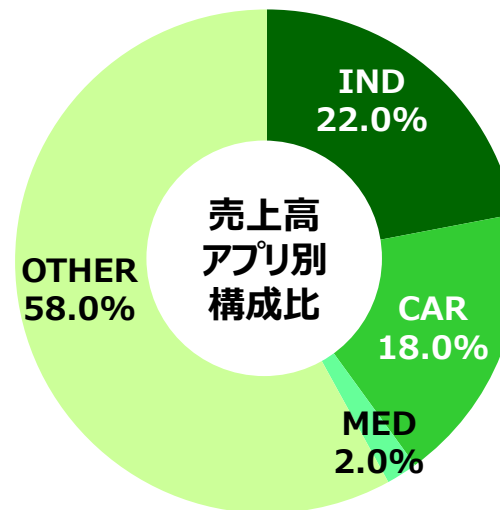
(単位：百万円)

地域 (D-in)	18.3期 上期		19.3期 上期		対前年同期比 増減率
	D-in 売上高	構成比	D-in 売上高	構成比	
日本	2,086	41.3%	2,245	43.1%	7.6%
アジア	1,586	31.4%	1,687	32.4%	6.4%
欧州	826	16.3%	747	14.4%	▲9.6%
北米	557	11.0%	524	10.1%	▲5.9%
平均為替レート (1\$=)	111.4円		110.0円		-

D-in 売上高：デザイン・イン・ベース売上高。当社の製品を搭載した製品が企画・設計され、実質的に受注を獲得した地域をベースとした売上高



18.3期上期実績



19.3期上期実績

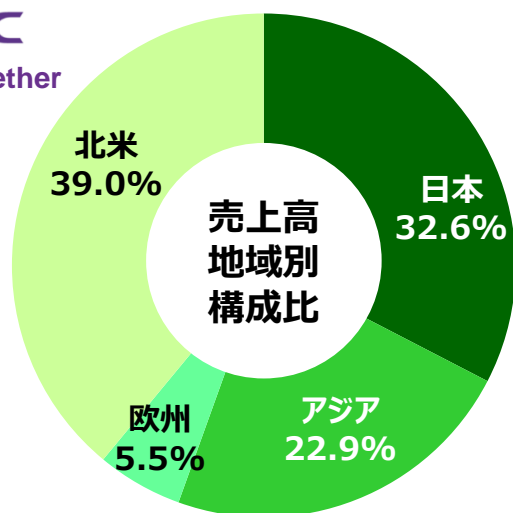
(単位：百万円)

アプリケーション	18.3期 上期		19.3期 上期		対前年同期比 増減率
	売上高	構成比	売上高	構成比	
IND 産業機器	1,668	22.2%	1,464	18.0%	▲12.2%
CAR 車載機器	1,391	18.5%	1,781	22.0%	28.0%
MED 医療機器	213	2.8%	161	2.0%	▲24.4%
OTHER その他機器	4,249	56.5%	4,703	58.0%	10.7%

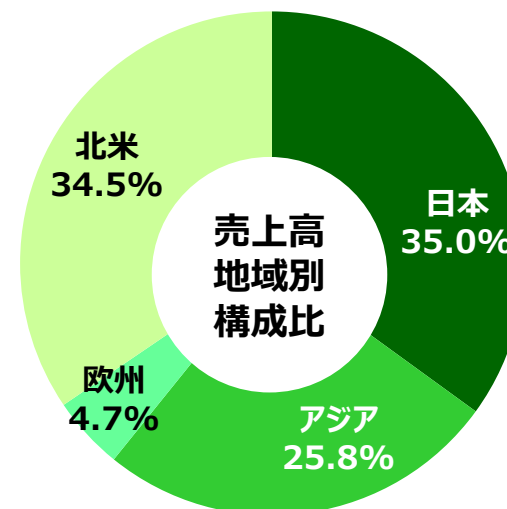
※注：アプリケーションの分類は変更することがあります。

トレックス・セミコンダクター向けの内部取引分を含む

2019年3月期 第2四半期業績 ～地域別売上高（フェニテック）



18.3期上期実績



19.3期上期実績

※ 顧客の所在地別に区分しています。

(単位：百万円)

地域（顧客）	18.3期 上期		19.3期 上期		対前年同期比 増減率
	売上高	構成比	売上高	構成比	
日本	2,450	32.6%	2,841	35.0%	16.0%
アジア	1,723	22.9%	2,089	25.8%	21.2%
欧州	412	5.5%	380	4.7%	▲7.8%
北米	2,935	39.0%	2,799	34.5%	▲4.6%
平均為替レート（1\$=）	111.4円		110.0円		

※注：日本には、トックス・セミコンダクター向けの内部取引分を含む

2019年3月期 業績予想

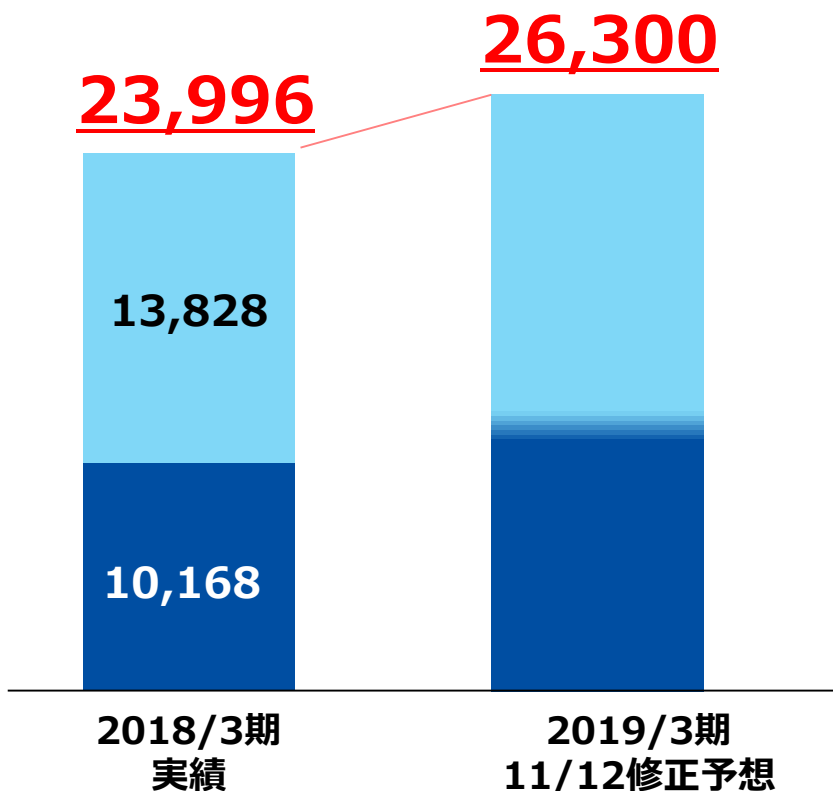
(単位：百万円)

科目	18.3期 通期実績	19.3期 通期中計	19.3期 通期 11/12 修正予想	対前年 同期比 増減率	対中計比 増減率
売上高	23,996	24,800	26,300	9.6%	6.0%
営業利益	2,212	1,600	2,200	▲0.6%	37.5%
営業利益率	9.2%	6.5%	8.4%	▲0.8Pt	1.9Pt
経常利益	1,998	-	2,560	28.1%	-
親会社株主に帰属する 当期純利益 (*1)	902	-	1,420	57.4%	-
EPS (円)	99.12	-	131.06	32.2%	-
平均為替レート (1\$=)	¥110.8	¥110.0	¥110.0	-	-
減価償却費	934	-	1,409	50.9%	-
設備投資	1,149	-	3,679	220.2%	-

(*1)海外売上高比率：外貨建て売上比率

(単位：百万円)

■ : トレックス
■ : フェニテック寄与分



・車載、産業機器製品のシェア拡大により増収

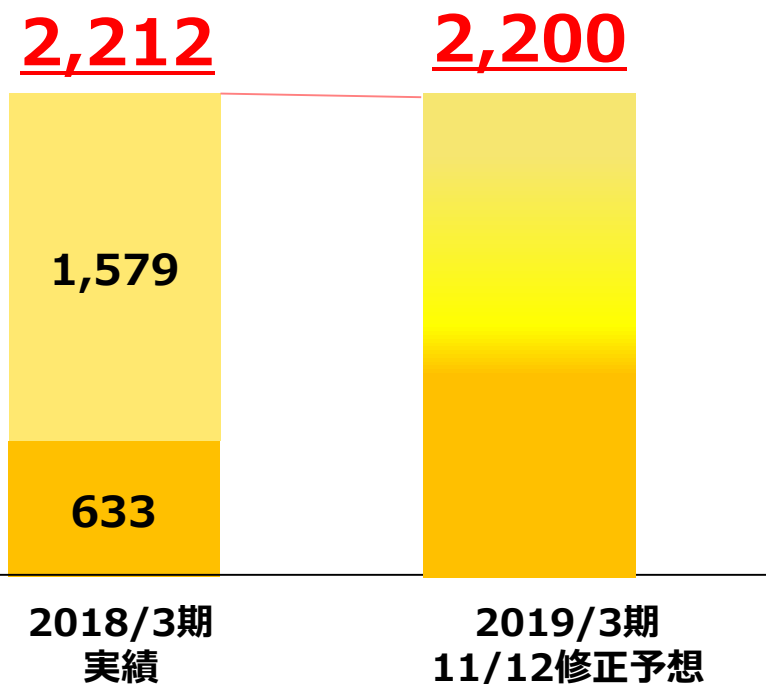
・生産効率向上によるディスクリートの販売増加

(単位：百万円)

	2018年3月期 実績	2019年3月期 11/12修正予想	対前年増減率
売上高	23,996	26,300	9.6%

(単位：百万円)

■ : トレックス
■ : フェニテック寄与分



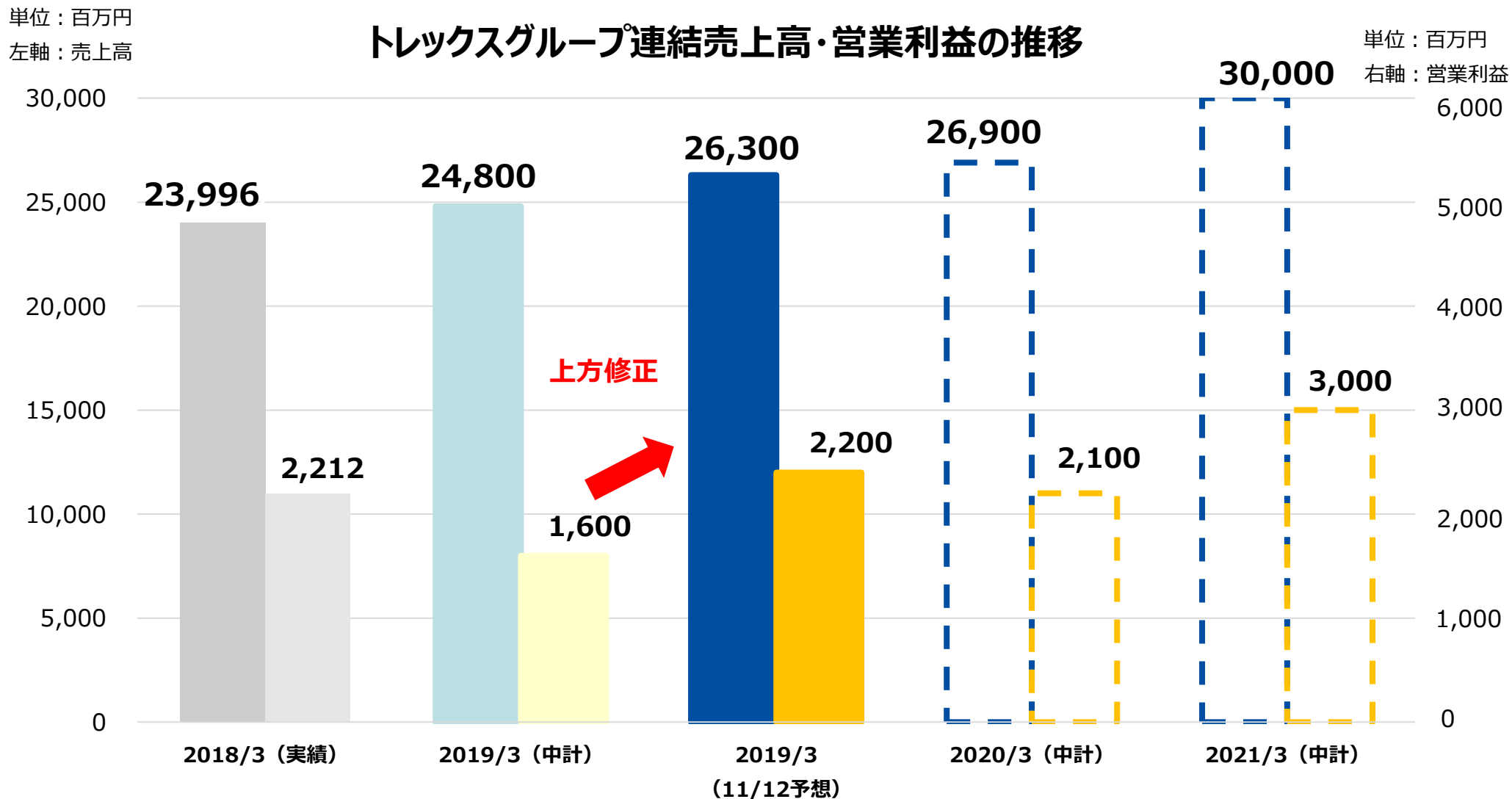
高収益体制の構築

フェニテック本社工場と第一工場の統合にかかる設備投資と経費増加、更には昨今の材料費の高騰が予想され、売上原価の上昇による一時的な減益が見込まれますが、統合後により高い収益性を持つための取り組みです。

また、工事期間および移転期間中は、本社工場も効果的かつ効率良く稼働を継続させるため、生産体制に影響はありません。

	2018年3月期 実績	2019年3月期 11/12修正予想	対前年増減率
営業利益	2,212	2,200	▲0.6%

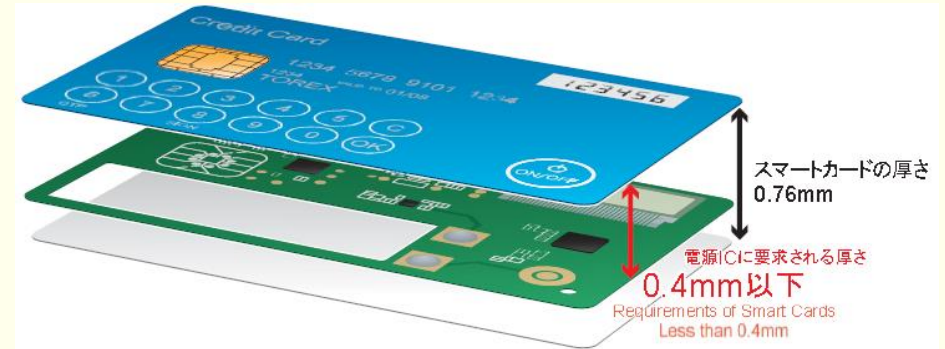
トレックスグループ連結売上高・営業利益の推移



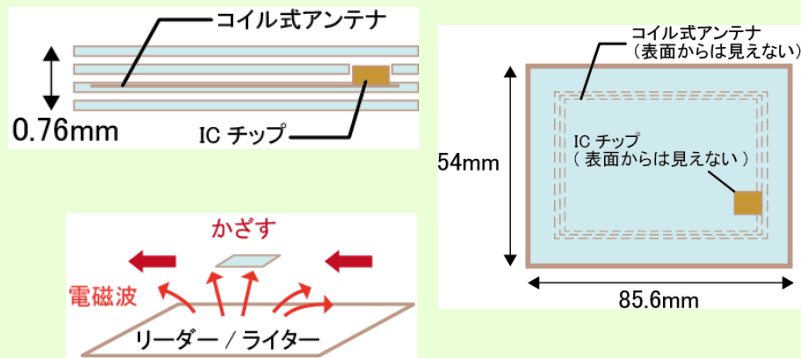
■スマートカードの低背パッケージ要求

スマートカードは、ISO/IEC 7810の国際規格により、寸法・厚さ（53.98mm×85.60mm×0.76mm）が規格されている。

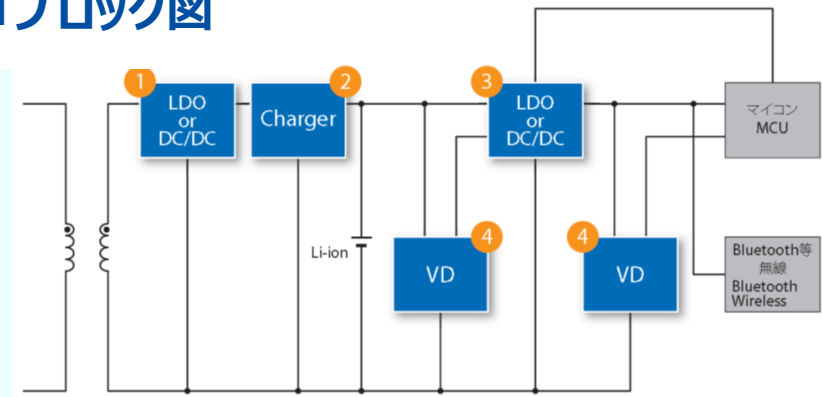
スマートカードには、アンテナとICチップが内蔵され、ICチップには記録機能や演算機能及びRFID, BT等が搭載。また、ディスプレイ搭載機種が増え、Li-ionが搭載されているカードが普及しておりLDO及びチャージャーICの需要が期待される。



■非接触型ICカード



■ブロック図

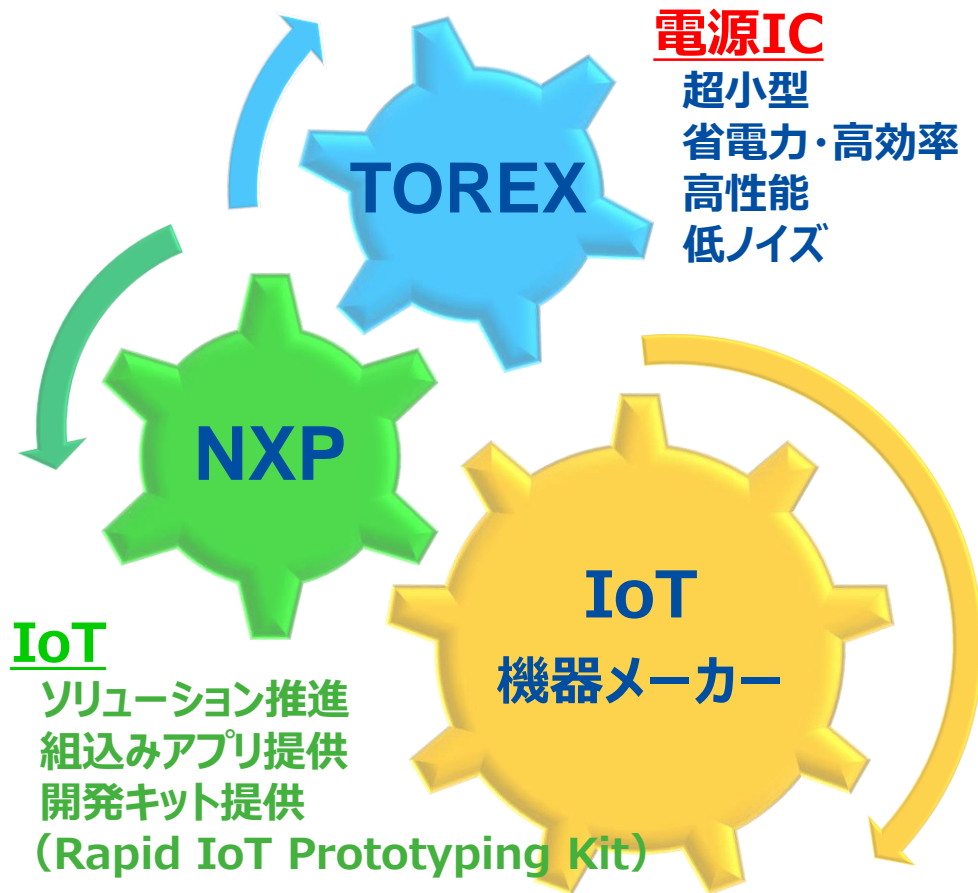




NXP セミコンダクター社が開発・提供する、IoTエッジ・デバイスに向けたプロトキット“Rapid IoT Prototyping Kit”に、

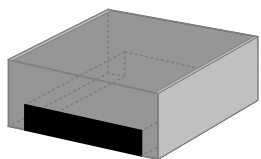
- ・ コイル一体型 “micro DC/DC”
- ・ 低オン抵抗負荷スイッチ

が採用されています。

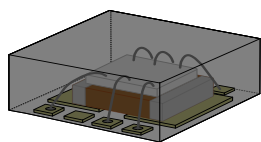


IoT 新製品開発・早期リリース貢献
省電力製品ができる!

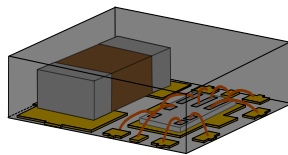
4種パッケージタイプで、小型低ノイズから 低背大電流まで、高効率で全方位カバー



①低ノイズ



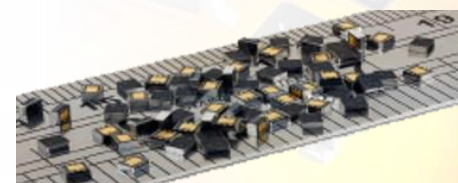
②ローコスト



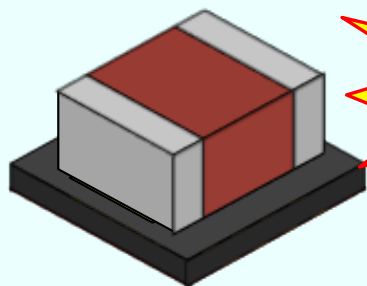
③大電流・低背

幅広い用途

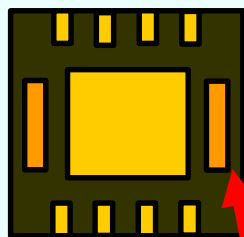
- ・ 小型携帯機器
- ・ Bluetooth、WiFi機器
- ・ IoTデバイス
- ・ 産業機器
- ・ 車載機器



④高放熱



裏面図

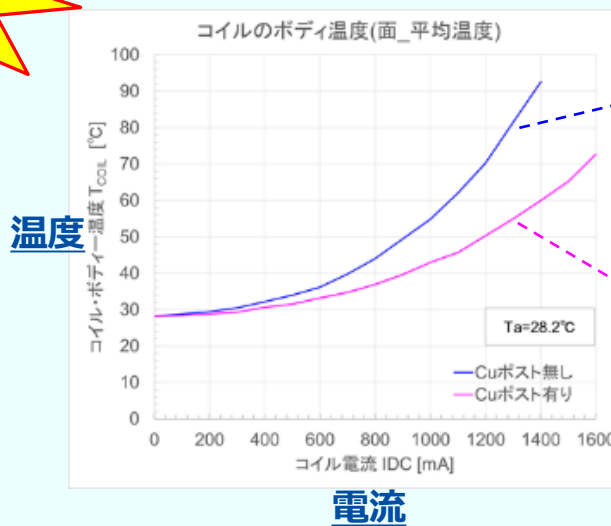


断面図

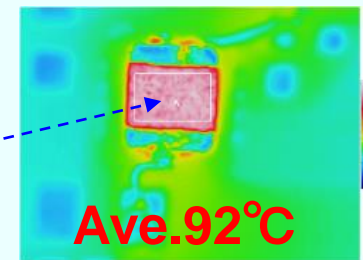


Cuポストが熱を実装基板へ放熱

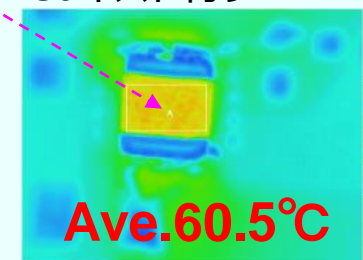
■ 特性例



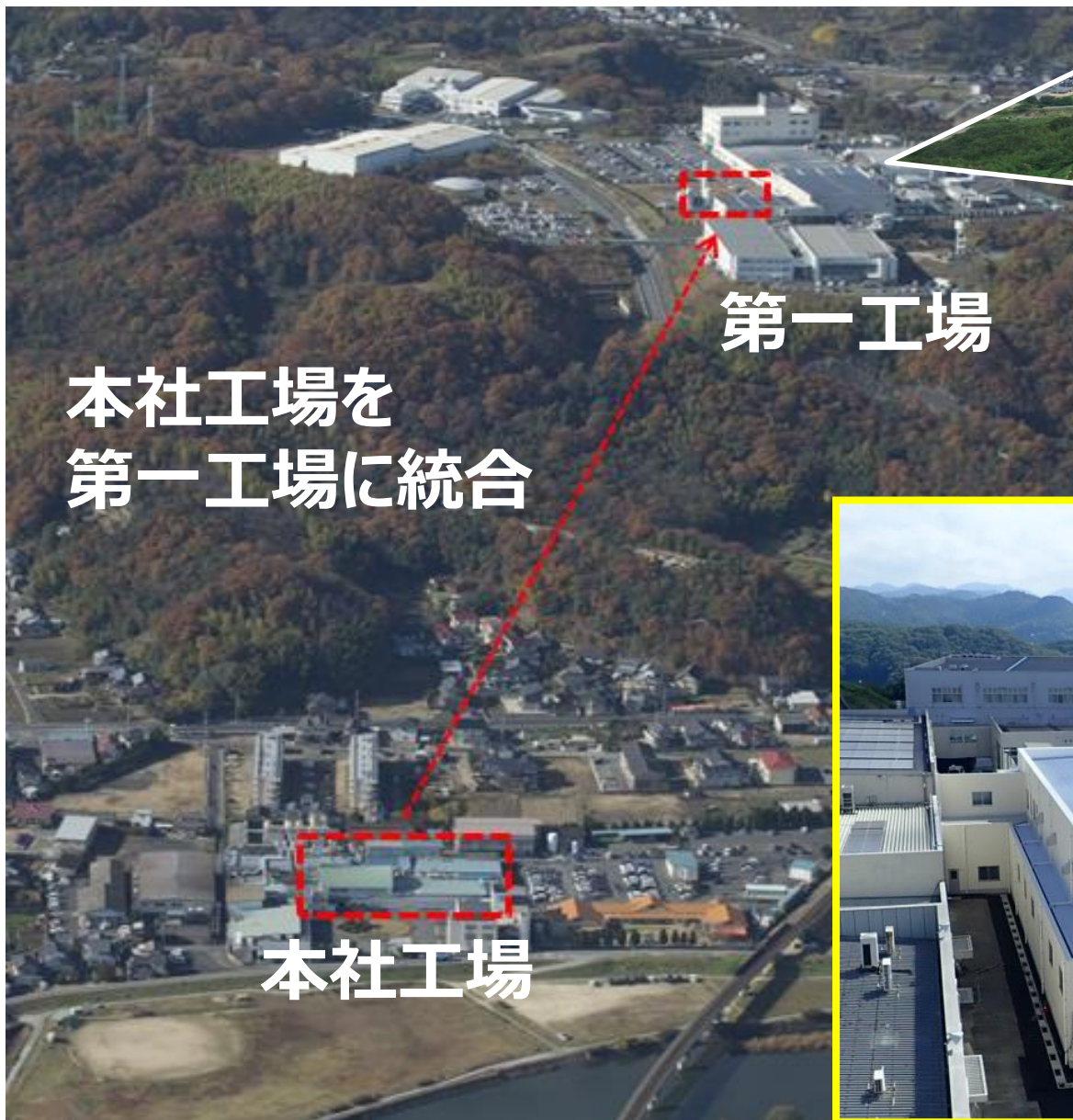
Cuポスト無し



Cuポスト有り



本社工場の第一工場への統合① 新棟完成



本社工場を第一工場へ統合

既存棟増床



新棟建設



2018年8月27日
落成

試作製品流動



量産用設備移動



お客様の承認を受け、順次量産移管



移設完了予定

2018年度

2019年度

2020年度

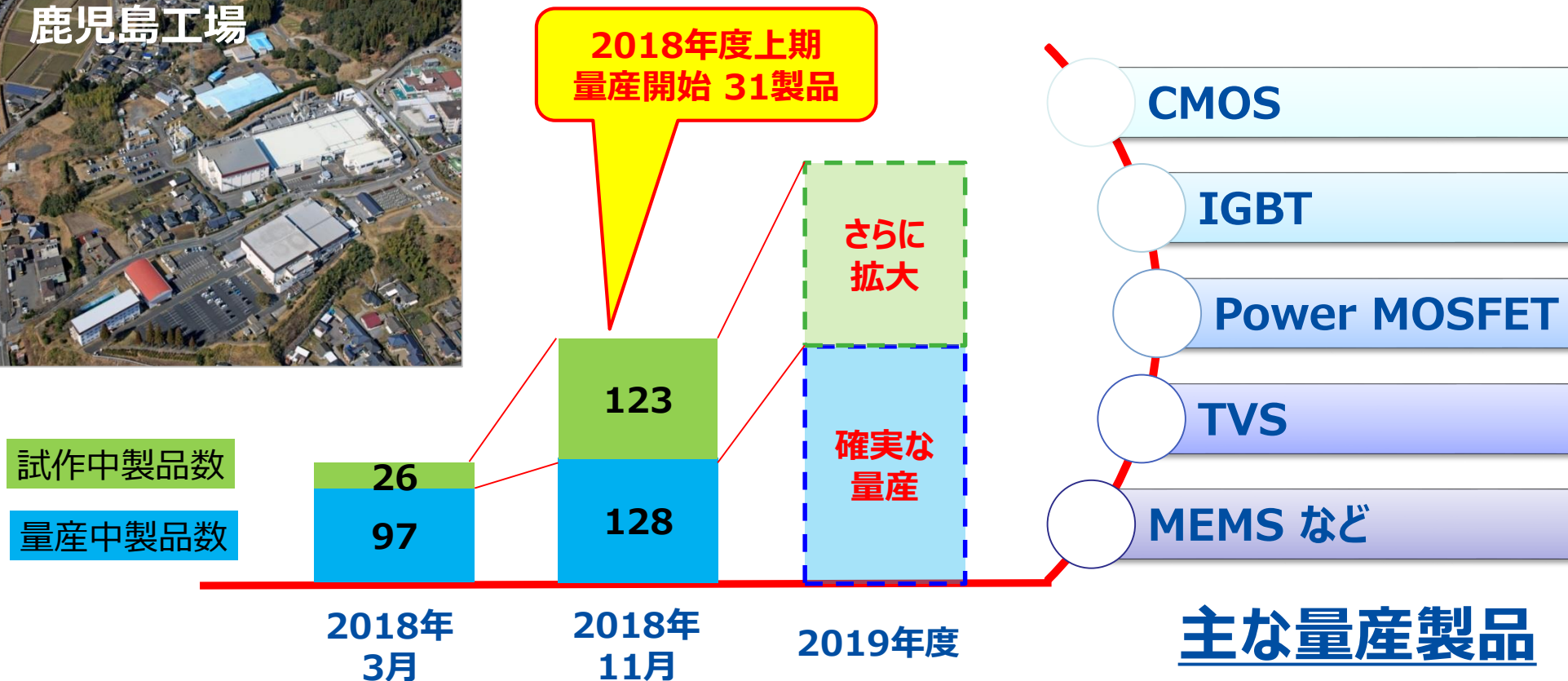
統合効果

- ・ 製品の長期安定供給体制の継続
- ・ 5インチ → 6インチ化による 生産効率向上 (6インチ比率: 統合前 24% ⇒ 統合後 64%)
- ・ 適切な装置とレイアウトによる 生産効率向上
- ・ 省エネルギー構造の工場による 製造コストの低減
- ・ 車載・産業機器向け品質の維持/向上
- ・ 新棟で本社工場の特徴である金、白金などの重金属加工工程を保有

生産性向上
製造コスト低減
高収益体制の構築

鹿児島工場の特長

- **6インチ** / 0.18 μ mの加工、化合物半導体 SiC デバイス開発
 - 第一工場(岡山)プロセスと類似装置
 - 2019年 IATF16949取得予定
- BCP対応 (地震・降灰・停電)**
車載製品対応

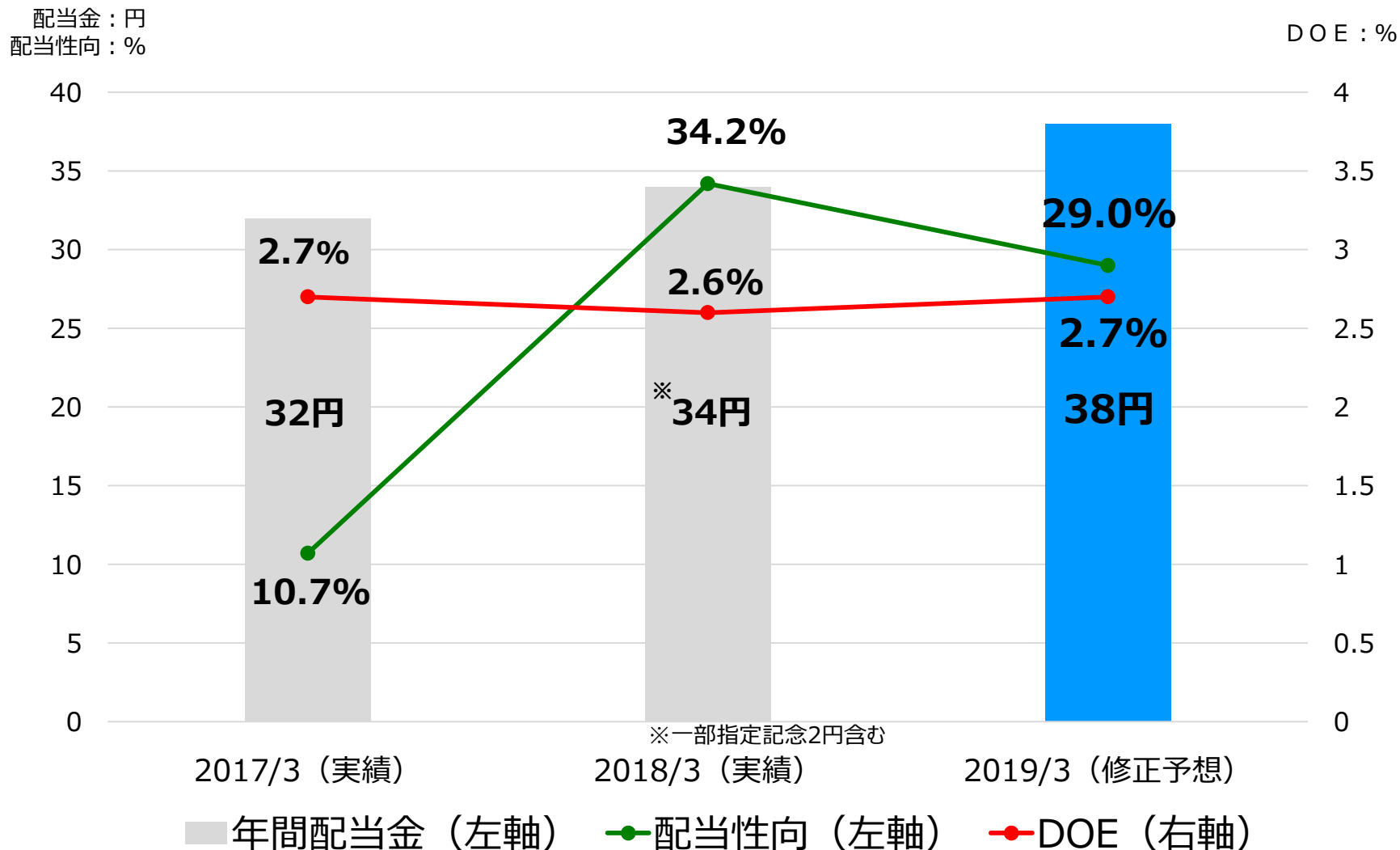


株主還元

戦略的投資による成長力の向上を図りつつ、当社を取り巻く経営環境並びに中長期の連結業績及び株主資本利益率の水準を踏まえて実施していくことといたします。

配当につきましては、業績水準を反映した利益配分として**連結配当性向20%以上**、安定的かつ継続的な株主還元
の拡充として**株主資本配当率（D O E）3%程度**を当面の目標として実施してまいります。

連結配当性向20%以上、D O E 3%程度を目安に還元



Appendix 会社紹介

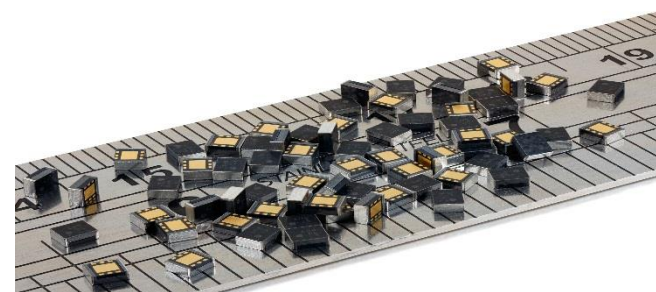
2014年4月にJASDAQスタンダード市場に上場、2015年10月に東証二部に市場変更し、2018年3月に東証一部指定となった、創業23年の半導体メーカーです。

アナログのチカラ

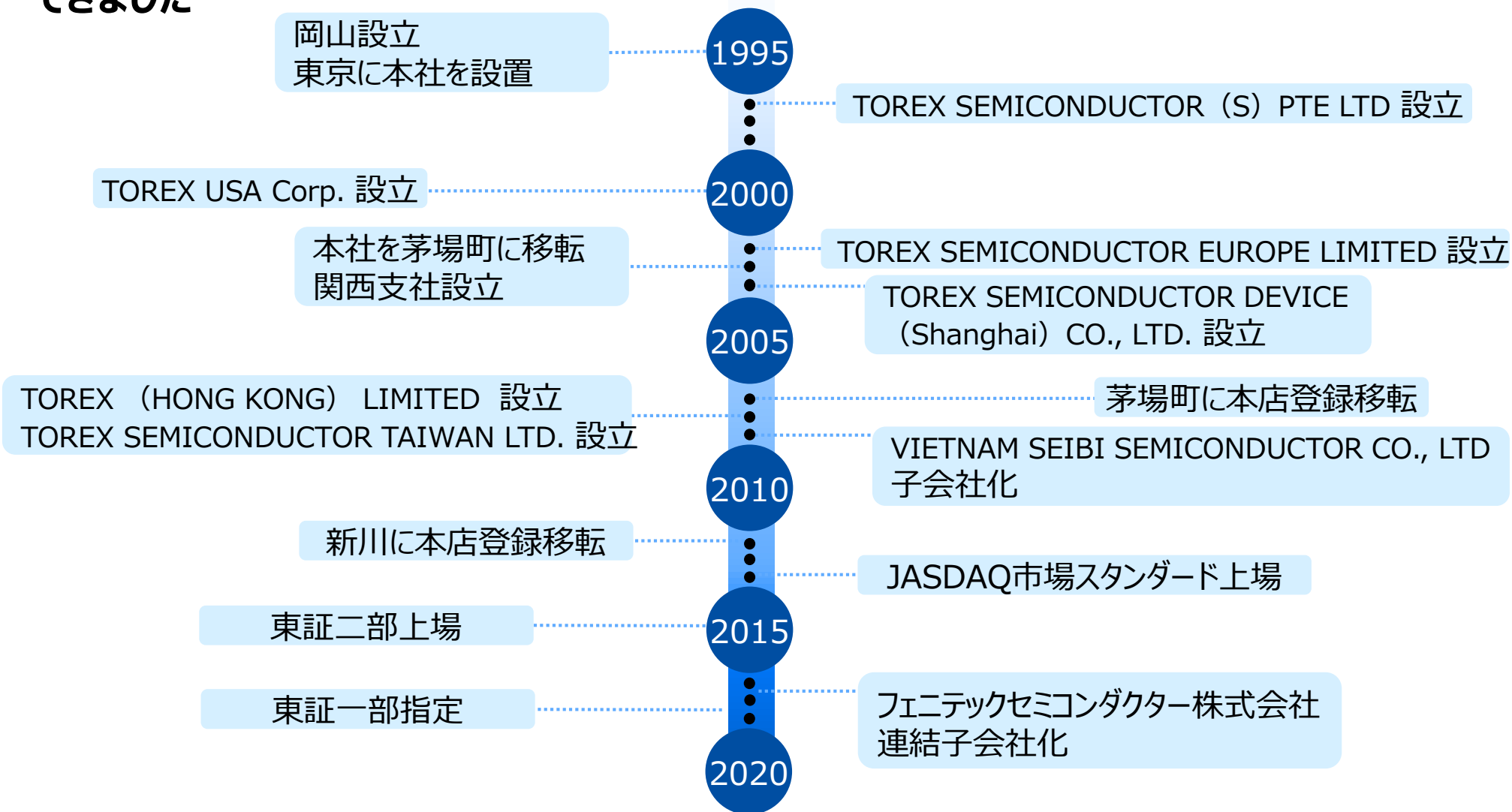
ABOUT TOREX

所在地	東京都中央区新川1-24-1 エゾ新川永代通りビル
代表者	代表取締役会長 藤阪 知之 代表取締役社長 芝宮 孝司
資本金	29億6793万円（2018年9月30日現在）
事業内容	1.半導体デバイスの開発、設計製造 2.半導体デバイスの販売
従業員数	当社：163名 / グループ：1,009名
上場証券取引所 及び上場日	東京証券取引所 市場第一部 2018年3月22日
単元株式数	100株
決算期	3月末日
証券コード	6616
URL	https://www.torex.co.jp/

常に豊かな知性と感性を磨き、市場に適応した価値ある製品を創出し、豊かな社会の実現と地球環境の保全に貢献するとともに、私たちの事業に携わるすべての人々が共に繁栄することを企業の理念とする。



●電源IC一筋、**省電力・小型化**の技術でエレクトロニクス産業技術の発展に貢献してきました



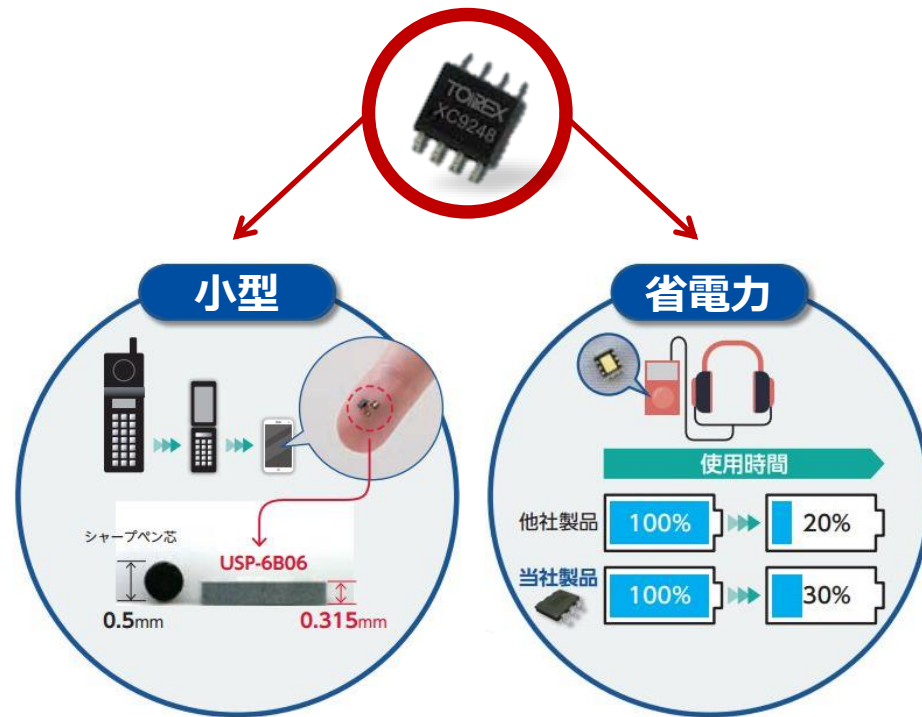
- 世界トップクラスの小型・省電力電源ICを開発・販売しています。

電源ICの役割



電子機器の様々な機能を動かすために
電圧を制御し安定供給する

TOIREXの電源IC



独自の技術で電子機器の
小型化、省電力化に貢献

- 国内に東京本社を含む 8 拠点、海外6カ国に8つの拠点を設け、世界の需要に対応しています。



本資料に記載された内容は、2018年11月20日現在において一般的に入手可能な情報と、合理的と判断する一定の前提に基づき、当社が作成したものです。

本資料に記載されている当社の中期計画、見通し等に関する記述は、将来の業績を保証するものではなく、リスクと不確実性を内包するものです。

実際の業績は、これらの要素により本資料の記載内容と大きく異なる可能性があります。

投資に関するご決定をされる際、本資料のみに全面的に依拠することはお控えいただき、みなさまご自身のご判断でなされるようお願い致します。

Powerfully Small!

常に豊かな知性と感性を磨き、
市場に適応した価値ある製品を創出し、
豊かな社会の実現と
地球環境の保全に貢献するとともに、
私たちの事業に携わるすべての人々が
共に繁栄すること

